

東部
(松崎町)

伊豆・松崎・であい村蔵らくら



居場所

ワンコインランチとものづくりで 町と高齢者に元気を与える“パワースポット”

「蔵ら」がある松崎町は、県内でも高齢化率が高い町のひとつ。しかし、ここで暮らす高齢者はとても元気です。理由のひとつが「蔵ら」の存在。「町と高齢者を元気にしたい」と代表の青森千枝美さんが築150年の古民家を借り受け、20数名の仲間達と平成22年にオープン。ワンコインランチの提供、手作りの小物や地元の農産品等の販売を行っています。青森さんをはじめスタッフの多くが70代の女性。その様子がセカンドライフを紹介するテレビ番組「人生の楽園」等で紹介され、町外からの来訪者で大繁盛に。「嬉しい反面、地域の皆さんとのかかわりが薄くなるのが懸念されました」と青森さん。そこで、平成26年夏に原点回帰。おしゃべりしながら手芸などをして介護予防をしようと「ものづくり」で過ごす日を設けました（「ものづくり楽校」）。「70代はプラチナ世代よ」と語る青森さん達の笑顔にパワーをもらいに、たくさんの人が「蔵ら」を訪れます。



ランチの提供は週4日(月・水・土・日)。近隣から訪れる常連さんの高齢者、県内外からの観光客、大きなテーブルを囲みおしゃべりしながらの昼食風景。午後からは町内の一人暮らしの高齢者に配食サービスも。

メッセージ

代表理事
青森 千枝美さん



「蔵ら」で一緒に働く仲間達は、料理、接客、経理、パソコン、車の運転などそれぞれ得意とすることで参加しています。70代だからこそ、できることがある。みんな人生のプロフェッショナルです。平成26年夏からは、手を使った「ものづくり」を楽しむ居場所を始めました。これからいろいろなことにチャレンジしていきたいと思っています。

ここに注目!!



展示販売する手作り小物はハイクオリティ。現在、町内外の60～90代の90数名が作り手として登録しています。



ランチは「日替わり」と「さんま寿司」の2種類、いずれも500円(税別)。地元の野菜や海産物を使ったおふくろの味。週末は品切れになることも。



手先を使い、脳を刺激して介護予防をと、平成26年夏からはじまった「ものづくり楽校」
●週2回(火曜・金曜)午後開催。
●火曜日…自由に好きなものを作る日
●金曜日…「教室」(申込制)
*視察や見学時のものづくり体験も可能。

DATA

☎(0558)42-0100
賀茂郡松崎町松崎319-1

F A X / 0558-42-0100
U R L / <http://www.wwq.jp/kurara/>
E-mail / kurara@tuba.ocn.ne.jp
開設時間 / 毎日(木曜定休) 10:00~16:00
ランチタイム(月水土日のみ)
11:30~13:30(売切れ次第終了)
アクセス / JR三島駅より東海バス 松崎町行き
駐車場 / 有
※視察は事前の電話連絡必要



〈経緯〉

平成17年 手作り小物店「ゆめのはな」をオープン
平成22年 ワーカーズコレクティブによる共同出資で「蔵ら」をオープン
平成23年 三島信用金庫「夢企業大賞」優秀賞受賞
平成24年 内閣府エイジレス・ライフ社会参加活動事例受賞
平成25年 企業組合へ改組
平成26年 「第2回 健康寿命をのばそう!アワード」厚生労働省健康局長・団体部門 優良賞受賞

〈運営〉

運営主体:企業組合であい村蔵ら
代表者:青森 千枝美(代表理事)

東部
(西伊豆町)

駄菓子屋じいばあ



居場所

お年寄りも子どもたちも、ありのままに過ごす 老いを受け止める心を育む居場所

西伊豆町の民家で小規模デイサービスを運営している「みんなの家」が、平成27年春から通りに面した縁側スペースを使い開設した「駄菓子屋じいばあ」。毎週土・日の午後になると地域の子も達や親子連れがやってきます。「このあたりでは祖父母と同居していない世帯も多く、お年寄りと接することなく育つ子どもが増えていきます。ここでのお年寄りのありのままの姿を垣間見てもらい、老いを嫌悪せずに受け止める心の下地が自然と育まれればいいと思います」と代表の奥田さん。縁側前には小さなテントと椅子が置かれ、異年齢の子ども同士の交流の場にもなっています。お年寄りも障がいのある人も、多様な人たちがお互いに理解し合い、助け合い、共に生きる社会の実現を目指して生まれた「みんなの家」。「駄菓子屋じいばあ」が次世代への架け橋になっています。



「駄菓子屋じいばあ」で買い物をする子どもたちの奥には、午後のひととき、ご利用者の人生を描いた手作りの「人生紙芝居」を楽しむ高齢者の姿があります。

メッセージ

駄菓子屋
じいばあ担当
山本茜さん

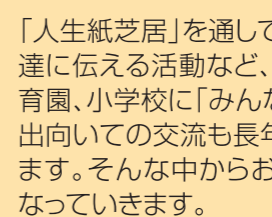


子ども達に人気の手作り「くじ」の包装を手伝ってくれるお年寄り。時にはお店番もお願いします。10円からある駄菓子はお年寄りにも人気で「おつまみに、家族への土産に」と「大人買い」することも。オープン前には地域の幼稚園保育園や小学校にチラシを配布。「子どもだけで行かせても安心」という保護者の方の声も活動の励みになっています。

ここに注目!!



「じいばあワクワクタイム」。子どもたちと高齢者が一緒に遊ぶ姿も日常的な光景です。



「人生紙芝居」を通して戦争体験を子ども達に伝える活動など、地域の幼稚園や保育園、小学校に「みんなの家」の利用者が出向いての交流も長年に渡って続いています。そんな中からお互いが顔見知りになっていきます。



小さなテントは子ども達のお気に入り。駄菓子を食べたり、おしゃべりしたり。“子どもの時間”が過ぎていきます。

DATA

☎(0558)52-4730
賀茂郡西伊豆町中745-3

F A X / 0558-52-4730
U R L / <http://rakutabist.com/>
E-mail / min7noie@poem.ocn.ne.jp
開設時間 / 土・日 13:30~16:00
アクセス / JR三島駅から東海バス松崎町行き
浜橋バス停より徒歩15分
駐車場 / 有
※視察は事前の電話連絡必要



〈経緯〉

平成11年 宅老所「みんなの家」開設
特定非営利活動法人「みんなの家」設立
平成16年 「縁側バザー」スタート
平成19年 戦争体験伝承支援活動を開始
平成21年 開設10周年記念事業
“みんなで歌おう!歌の玉手箱”を
田子公民館で開催。
平成27年 駄菓子屋じいばあ開店

〈運営〉

運営主体:NPO法人みんなの家
代表者:奥田俊夫